

## 調査レポート「沖縄県内の市町村の将来推計人口（2022年7月推計）」

### （目次）

#### はじめに

1. 県内市町村の人口動態
2. 将来推計人口の推計方法
3. 市町村別の将来推計人口
4. 県内地域別の将来推計人口

### （要旨）

#### 1. 将来推計人口の推計方法

当研究所では、コーホート要因法に基づき、2020年の国勢調査およびその後公表されている推計人口や人口動態調査、住民基本台帳人口移動報告などのデータを用いて、県内市町村の将来推計人口を推計してみた。市町村別の将来推計人口については、男女別、5歳階級別、5年毎の推計を行った。また、北部、中部、南部、宮古、八重山地域の地域別の将来推計人口は、市町村別の将来推計人口を該当する地域別に集計したものである。

#### 2. 市町村別の将来推計人口

##### （人口の増減見通し）

県内41市町村のうち、2020年の人口が既に15年より減少している市町村は20市町村で、約半数が減少している。20年から25年にかけては大宜味村や恩納村、名護市、宜野座村、読谷村、北中城村、西原町、南城市、座間味村、宮古島市の10市町村が減少に転じる見通しである。また、25年から30年にかけては、うるま市、浦添市、糸満市、石垣市、与那国町の5市町が減少に転じる見通しである。さらに30年から35年にかけては、沖縄市、宜野湾市、八重瀬町の3市町が減少に転じ、35年から40年にかけては与那原町と豊見城市の2市町が減少に転じる見通しである。50年から55年にかけて南風原町と中城村が減少に転じることにより、県内全ての市町村が減少する見通しである。70年において人口が20年を上回っているのは、南風原町と中城村の2町村となり、この2町村以外は全て20年を下回っている。一方、20年比で最も下回っているのは粟国村で7割近く減少する見通しである。次いで多良間村、座間味村、伊江村、国頭村となっている。

##### （人口の構成比）

県人口に占める構成比をみると、70年で最も大きいのは那覇市で、次いで沖縄市、うるま市、浦添市、宜野湾市となる見通しであり、20年と同じ順位となっている。構成比の増減では、最も増加するのは南風原町で、次いで、うるま市、豊見城市、糸満市、沖縄市となっている。

#### (年齢3区分別人口の増減)

20年から70年までの人口の増減率を年齢3区分別で見ると、0～14歳人口の年少人口は全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村で、次いで座間味村、粟国村、多良間村、伊江村となっている。また、15～64歳の生産年齢人口も全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村で、次いで粟国村、伊江村、座間味村、多良間村となっている。一方、65歳以上の老年人口は23市町村で増加する見通しである。最も増加率が大きいのは中城村で、次いで南風原町、宜野湾市、豊見城市、沖縄市となっている。また、最も減少率が大きいのは渡名喜村で、次いで東村、粟国村、伊平屋村、多良間村となっている。

#### (年齢3区分別人口の構成比)

各市町村の人口に占める年齢3区分別人口の構成比について20年と70年を比較すると、0～14歳人口では、渡名喜村と東村が上昇するが、この2村以外は全て低下する見通しである。15～64歳人口では、竹富町と中城村、伊是名村が上昇するが、この3町村以外は全て低下する見通しである。一方、65歳以上人口では、渡嘉敷村と座間味村、伊江村など、38市町村で上昇する見通しである。低下するのは3村で、渡名喜村と東村、今帰仁村が低下する見通しである。

### 3. 県内地域別の将来推計人口

#### (地域別の将来推計人口)

地域別では、北部地域が20年の12万8,030人から70年には9万3,280人となる見通しである。また、南部地域と宮古地域は20年から25年には減少に転じ、南部地域は20年の70万6,970人から70年には56万550人となり、宮古地域は5万3,900人から4万6,220人となる見通しである。中部地域は25年から30年に減少に転じ、20年の52万5,380人から70年には44万4,570人となる見通しであり、30年には全ての地域が減少に転じる見通しである。八重山地域は、20年は5万3,190人から70年には4万3,780人となる見通しである。

## 1. 県内市町村の人口動態

### (1)2020 年国勢調査による県内市町村の人口増減(15 年比)

2020 年の国勢調査によると、県内 41 市町村のうち人口が 15 年より減少している市町村は 20 市町村で、一部都市部の市町村を除くと、大方が離島と北部の自治体である。

※ 2020 年の人口が 15 年より減少している市町村 (20 市町村)

那覇市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、金武町、伊江村、嘉手納町、北谷町、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町

### (2)2010 年～2022 年 6 月の各市町村の人口動態(自然増減、社会増減)

#### (自然増減)

2010 年以降の県内市町村の人口の自然増減をみると、高齢化に伴い大半の市町村で死亡数が増加傾向にある中で、10 年代後半には出生数が減少しており、各市町村とも総じて自然増減は縮小傾向にある(図表 1)。特に 20 年以降は新型コロナウイルスの感染拡大も影響していると推察される。

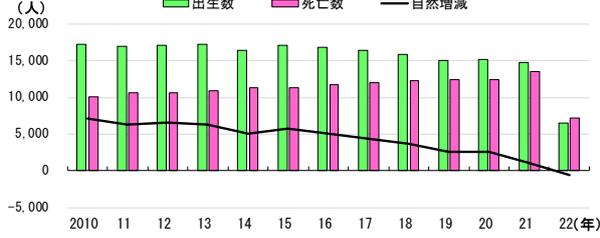
また、本島北部地域や離島においては、既に死亡者数が出生者数を上回っている状況がみられ、自然増減はマイナスで推移している自治体が多くみられる。

#### (社会増減)

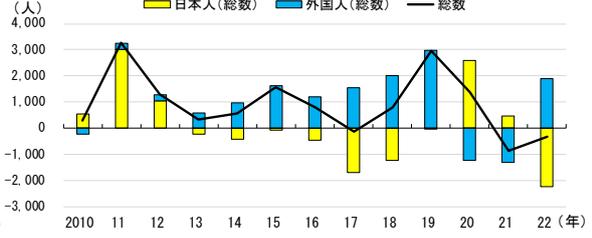
2010 年以降の県内市町村の人口の社会増減をみると、日本人については、うるま市や南城市、恩納村、宜野座村、中城村、北中城村、八重瀬町では増加基調で推移しているが、20 年以降は減少しているケースもみられ、新型コロナウイルスの感染拡大が影響している可能性がある。また、これまで増加基調を続けてきた豊見城市と南風原町が 21 年以降、減少に転じているが、これも新型コロナウイルスの感染拡大が影響している可能性がある。一方、これまで社会増を続けてきた外国人は新型コロナウイルスの感染拡大による入国規制の影響から 20 年～21 年にかけて減少に転じた市町村が多いが、22 年(1～6 月計)には増加に転じている自治体もみられる。なお、県都である那覇市は外国人が増加基調を続けてきたが、日本人の減少数が大きく、社会増減は減少が続いており、20 年～21 年にかけては外国人も減少に転じたことから社会増減は大きく減少している。ただし、22 年(1～6 月計)は外国人が増加に転じたことから減少幅は縮小している。

図表1 県内市町村の人口動態(自然増減、社会増減)

(沖縄県)

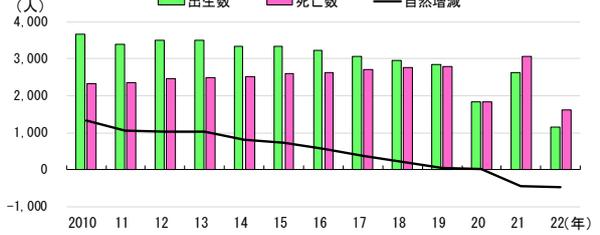


(備考)2022年は1~6月。

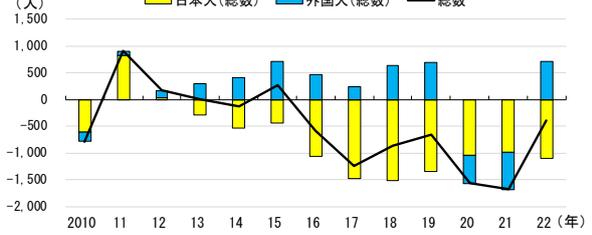


(備考)2022年は1~6月。

(那覇市)

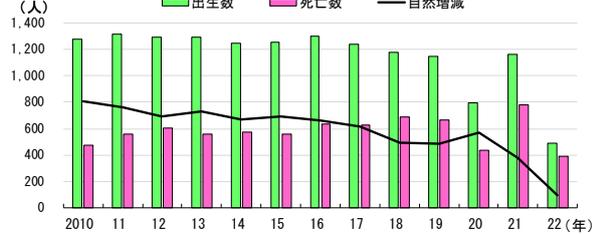


(備考)2022年は1~6月。

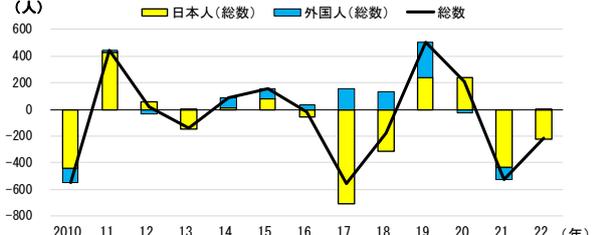


(備考)2022年は1~6月。

(宜野湾市)

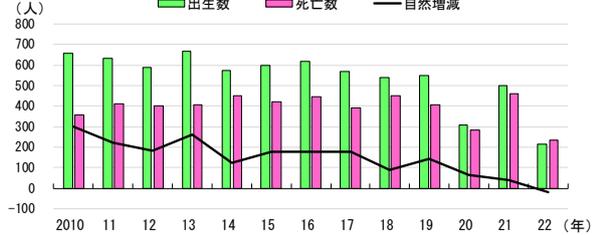


(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(石垣市)



(備考)2022年は1~6月。

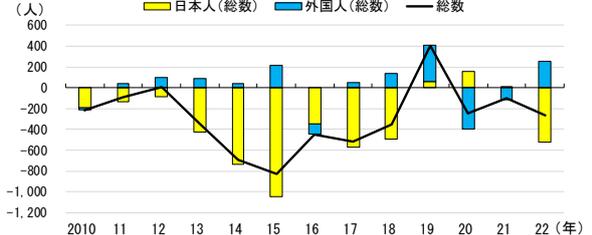


(備考)2022年は1~6月。

(浦添市)

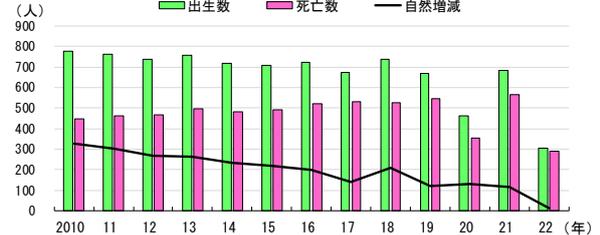


(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(名護市)



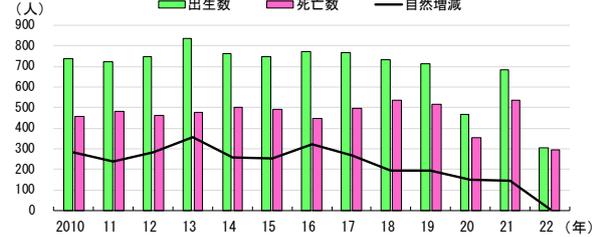
(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(続き:1)

(糸満市)

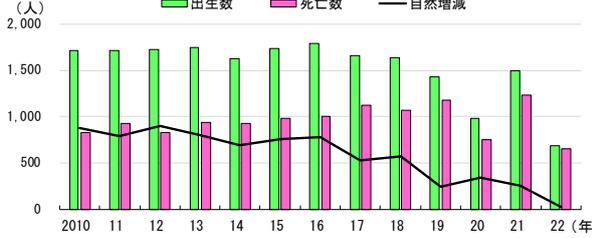


(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(沖縄市)



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(豊見城市)

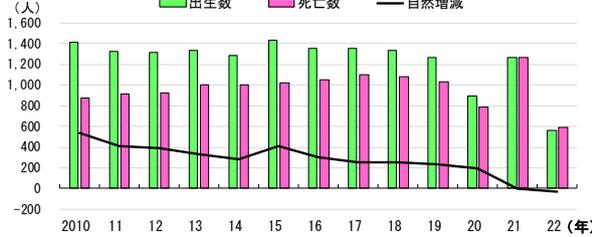


(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(うるま市)



(備考)2022年は1~6月。

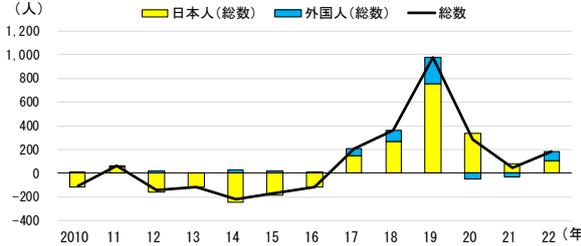


(備考)2022年は1~6月。

(宮古島市)



(備考)2022年は1~6月。

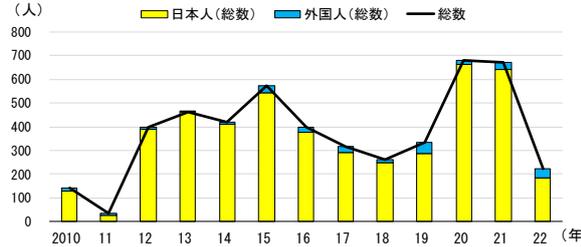


(備考)2022年は1~6月。

(南城市)

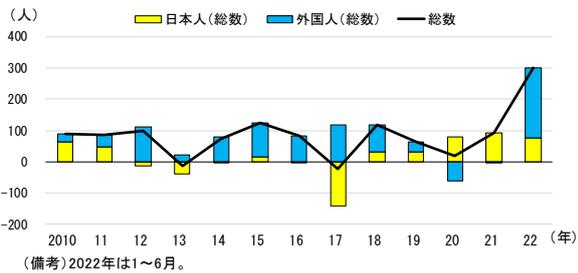
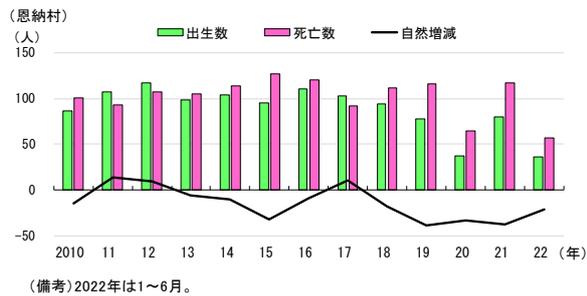
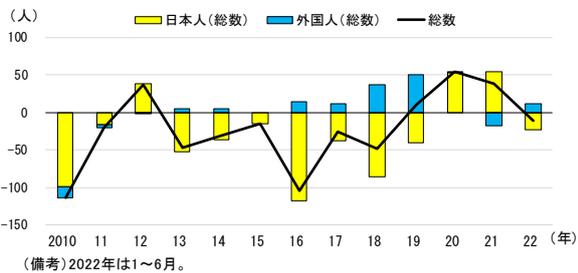
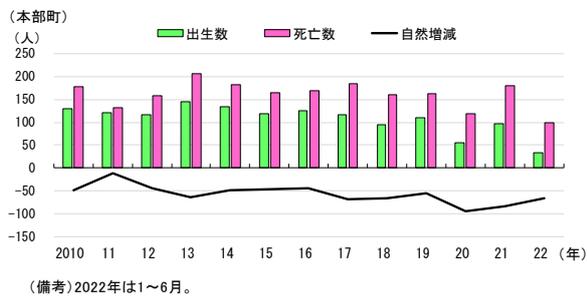
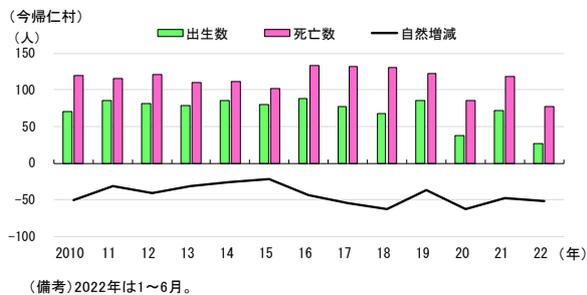
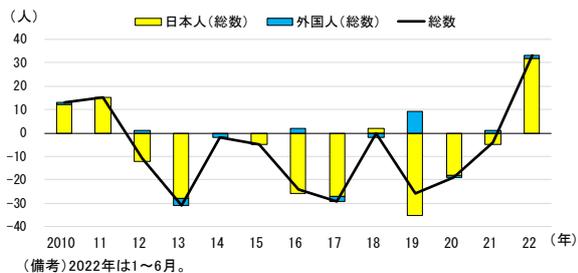
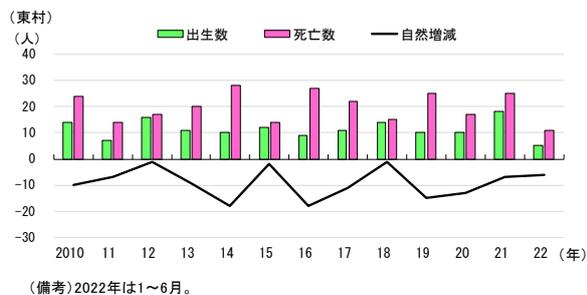
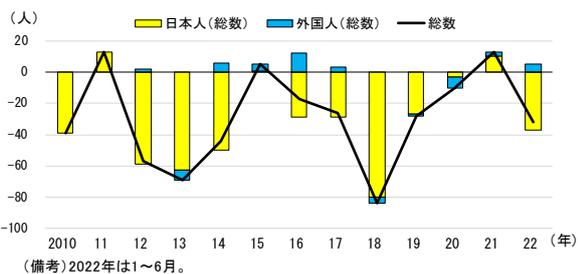
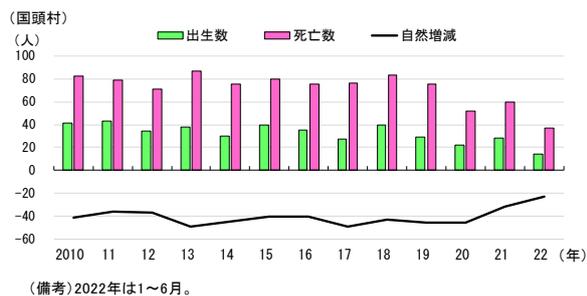


(備考)2022年は1~6月。

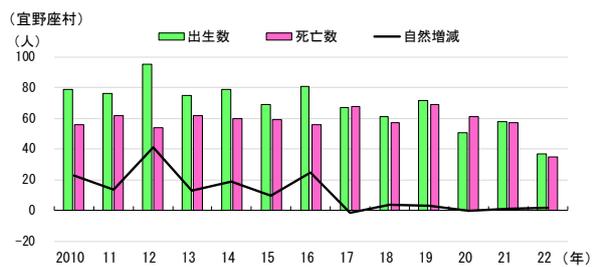


(備考)2022年は1~6月。

(続き:2)



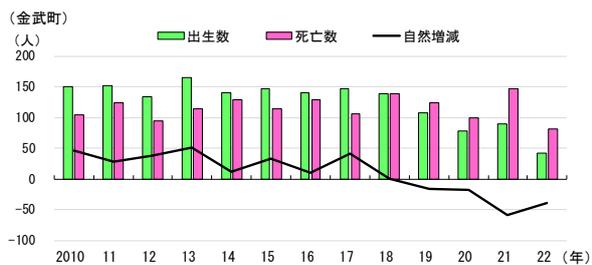
(続き:3)



(備考)2022年は1~6月。



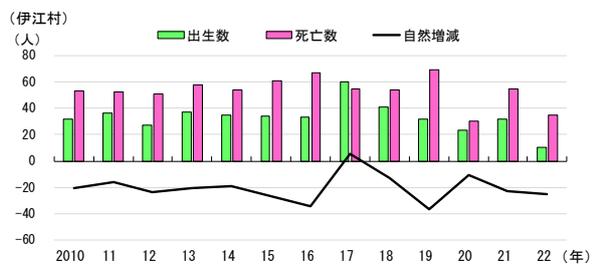
(備考)2022年は1~6月。



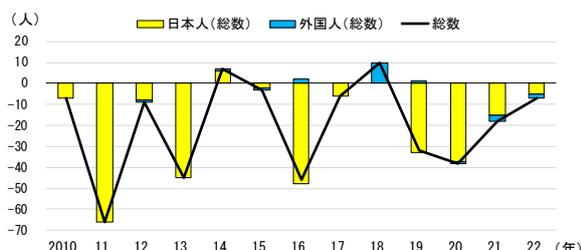
(備考)2022年は1~6月。



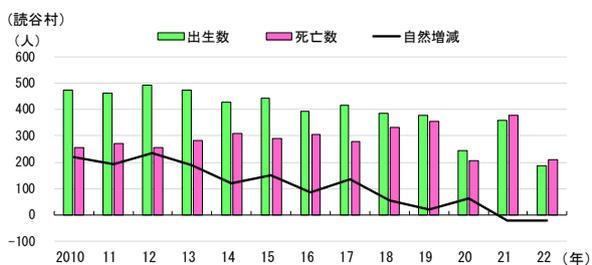
(備考)2022年は1~6月。



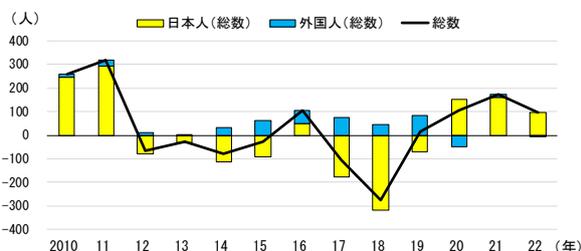
(備考)2022年は1~6月。



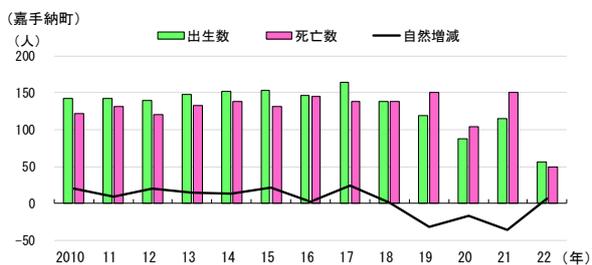
(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。



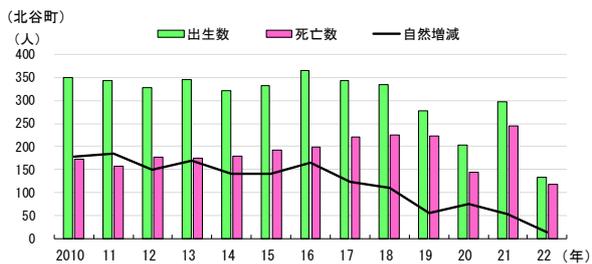
(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。



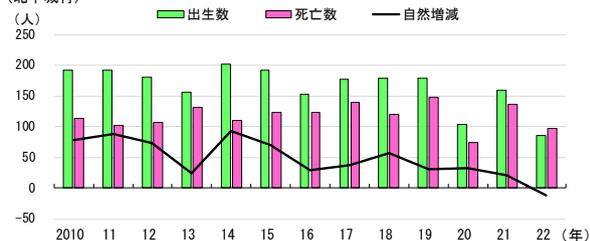
(備考)2022年は1~6月。



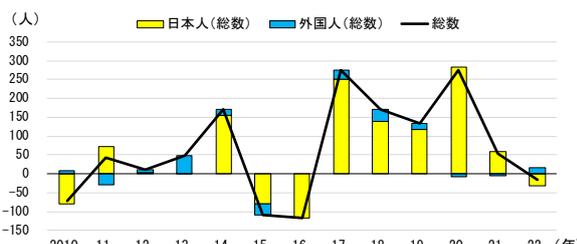
(備考)2022年は1~6月。

(続き:4)

(北中城村)



(備考)2022年は1~6月。

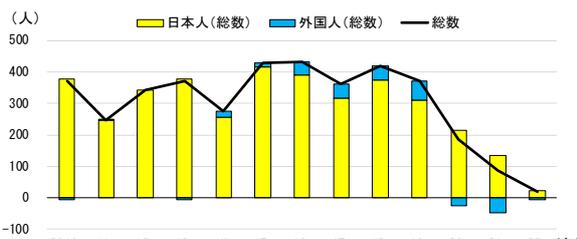


(備考)2022年は1~6月。

(中城村)



(備考)2022年は1~6月。

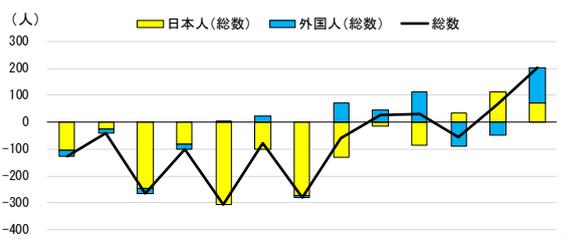


(備考)2022年は1~6月。

(西原町)



(備考)2022年は1~6月。

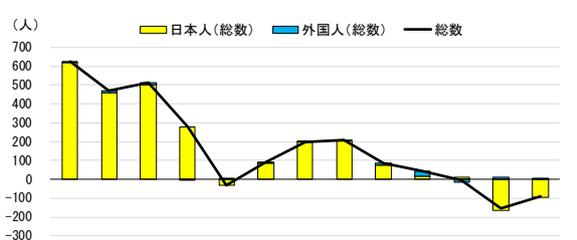


(備考)2022年は1~6月。

(与那原町)



(備考)2022年は1~6月。

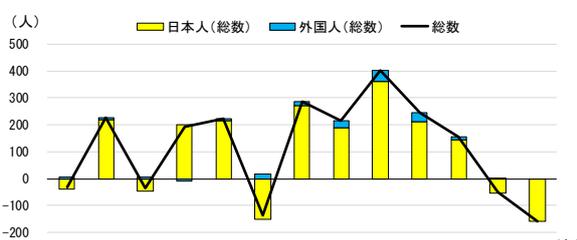


(備考)2022年は1~6月。

(南風原町)



(備考)2022年は1~6月。

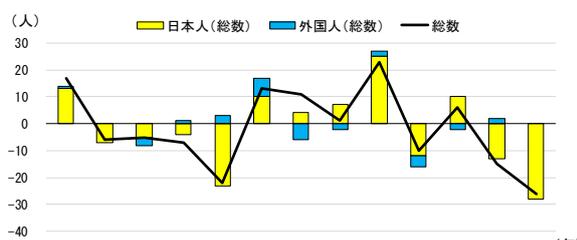


(備考)2022年は1~6月。

(渡嘉敷村)



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(続き:5)

(座間味村)



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(栗国村)



(備考)2022年は1~6月。

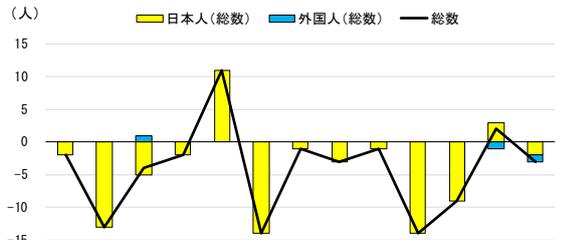


(備考)2022年は1~6月。

(渡名喜村)

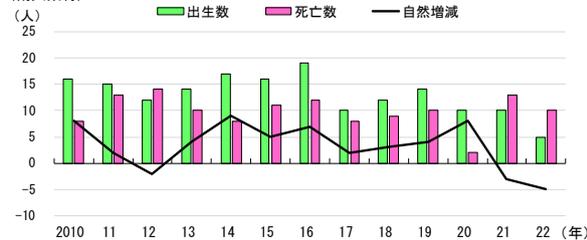


(備考)2022年は1~6月。

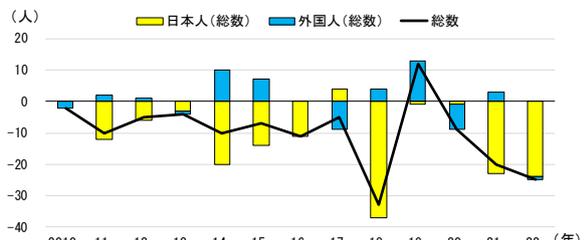


(備考)2022年は1~6月。

(南大東村)



(備考)2022年は1~6月。

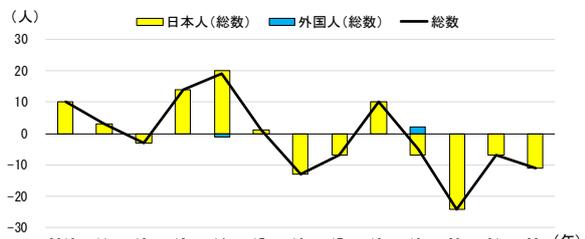


(備考)2022年は1~6月。

(北大東村)



(備考)2022年は1~6月。

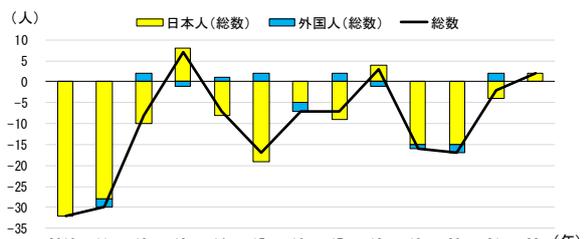


(備考)2022年は1~6月。

(伊平屋村)



(備考)2022年は1~6月。



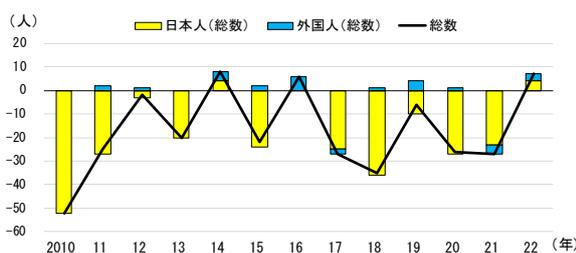
(備考)2022年は1~6月。

(続き:6)

(伊是名村)

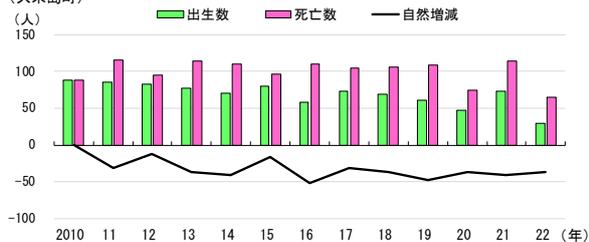


(備考)2022年は1~6月。

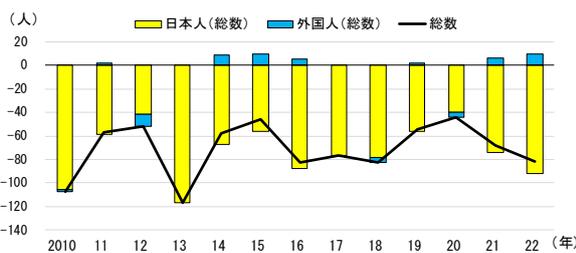


(備考)2022年は1~6月。

(久米島町)

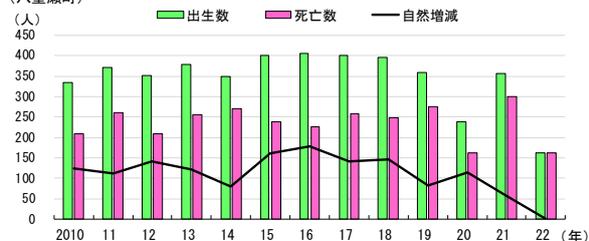


(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(八重瀬町)



(備考)2022年は1~6月。

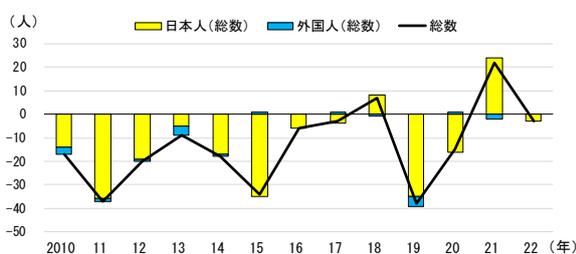


(備考)2022年は1~6月。

(多良間村)



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

(竹富町)



(備考)2022年は1~6月。

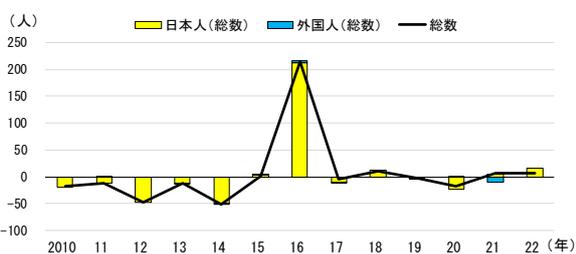


(備考)2022年は1~6月。

(与那国町)



(備考)2022年は1~6月。



(備考)2022年は1~6月。

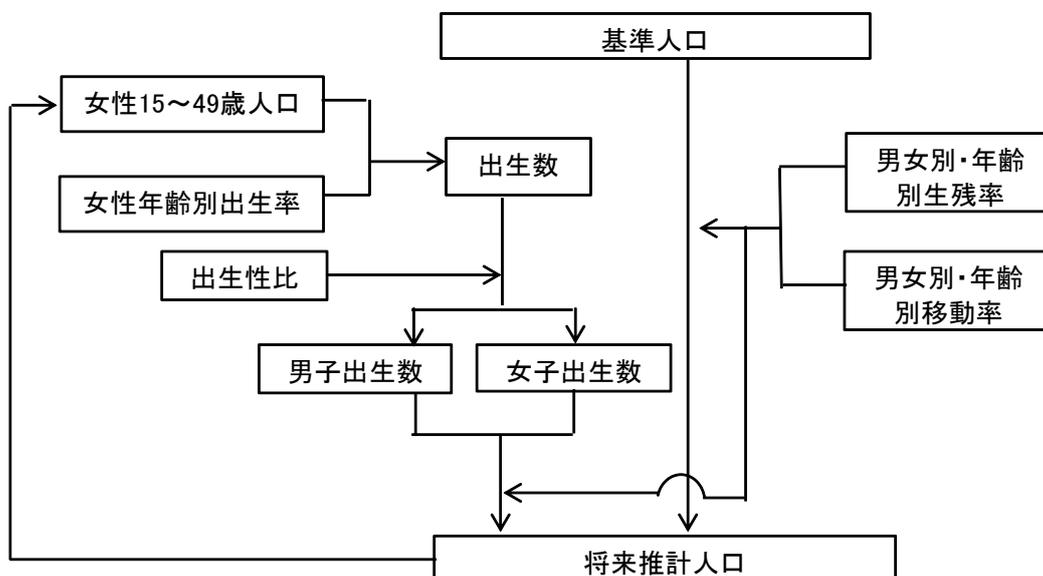
## 2. 将来推計人口の推計方法

### (1) 将来推計人口

我が国における公式な将来推計人口は、5年毎の国勢調査の公表後、国立社会保障・人口問題研究所によって推計、公表されている。将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡、国際人口移動（都道府県別については国内の他の都道府県への移動も含む）について仮定を設定し、コーホート要因法により、我が国の将来の人口規模ならびに男女・年齢構成の推移について推計を行ったものであり、出生や死亡を高位、中位、低位に仮定して複数の推計を行っている。

当研究所では、コーホート要因法に基づき、2020年の国勢調査およびその後公表されている推計人口や人口動態調査、住民基本台帳人口移動などのデータを用いて、県内市町村の将来推計人口を推計してみた。「コーホート」とは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指し、コーホート要因法とは、各コーホートについて「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である。計算手順は、基準年の各歳別の男女別人口に、各々「生残率+移動率」を乗じて翌年の1歳上の各歳別・男女別人口を推計する（図表2）。基準年の翌年の0歳人口は、基準年の翌年の再生産年齢人口である15～49歳の女性の各歳別人口に年齢別出生率を乗じて算出し、出生性比により男子、女子の0歳人口を計算する。これにより求められた基準年の翌年の各歳別・男女別人口を同じ手順で生残率、移動率を乗じて翌々年の各歳別、男女別人口を推計する。0歳人口も同様に、ここで推計された15～49歳の女性の各歳別人口に年齢別出生率を乗じて算出する。この手順を予測対象期間について繰り返し行い、将来推計人口を推計していく。なお、今回の推計では、2020年の国勢調査の0～4歳出生数を15～49歳女性人口で除した子ども女性比を求め、将来推計の15～49歳女性人口に同比率を乗じることにより、将来の0～4歳人口を推計した。

図表2 コーホート要因法による将来推計人口の推計手順



次に、推計に用いた基準人口、生残率、出生率、移動率について説明する。

#### (基準人口)

将来推計の出発点となる基準人口は、2020年の国勢調査の各市町村の男女別・5歳階級別人口を用いた。なお、年齢不詳人口については各歳別人口の年齢構成比で各歳別人口に按分した。

#### (生残率)

生残率とは、ある年齢の人口が1歳年齢が上がった時点で生き残っている率のことである。生残率は生命表から求められるが、今回の推計では2015年の本県の生命表より男女別・年齢別の生残率を求めた。各市町村の15年の生残率と将来の仮定値については、県全体の生残率を用いた。

#### (出生率)

各市町村の0歳児の出生数について将来値を推計する必要があるが、今回の推計では2020年の国勢調査の0～4歳出生数を15～49歳女性人口で除した子ども女性比を求め、将来推計の15～49歳女性人口に同比率を乗じることにより、将来の0～4歳人口を推計した。

#### (出生性比)

出生性比は、出生数に占める男女の比率であるが、同比率は概ね男子：女子＝1.05：1.00で比較的安定した数値で推移していることから、将来推計においても0～4歳児の人口に同比率を用いて、男女別の人口を求めた。

#### (移動率)

今回の将来推計では、2017年から21年の住民基本台帳人口移動報告の結果を用いて各市町村の男女別・5歳階級別人口について移動率を求めた。各市町村の将来の移動率は原則として、この移動率が将来も続くと仮定した。ただし、各市町村で特殊な要因や事情などにより、この移動率が極端に大きい、または小さいとみられるケースでは、移動率を将来の仮定値としてそのまま用いると、将来人口が急増したり急減するなど、現実的ではない将来推計人口となるため、その要因や個別の事情などを分析・検証し、将来の仮定値について調整した。なお、85歳以上の高齢の人口については人口規模が小さいため移動率の振れが大きくなったりすること、また移動人数そのものは小さいとみられることから、移動率をゼロとした。

### (2)市町村別の将来推計人口

市町村別の将来推計人口については、男女別、5歳階級別、5年毎の推計を行った。推計方法は県全体の推計方法に準じている。なお、当研究所では先に県全体の将来推計人口を推計（2022年6月推計）したことから、各市町村の男女別、5歳階級別の人口については、全市町村の合計が県全体の将来推計人口の該当する男女別、5歳階級別の人口と一致するように調整している。

### (3)地域別の将来推計人口

北部、中部、南部、宮古、八重山地域の地域別の将来推計人口は、市町村別の将来推計人口を該当する地域別に集計したものである。

### 3. 市町村別の将来推計人口

県内 41 市町村のうち、2020 年の人口が既に 15 年より減少している市町村は 20 市町村で、約半数が減少している。那覇市と金武町、嘉手納町、北谷町を除くと、全て離島と北部の自治体である。

※ 2020 年の人口が 15 年より減少している市町村 (20 市町村)

那覇市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町、金武町、伊江村、嘉手納町、北谷町、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町

### (人口の増減見通し)

以下、当研究所による 2020 年以降の各市町村の将来推計人口によると、20 年から 25 年にかけては大宜味村や恩納村、名護市、宜野座村、読谷村、北中城村、西原町、南城市、座間味村、宮古島市の 10 市町村が減少に転じる見通しである(図表3~図表6)。また、25 年から 30 年にかけては、うるま市、浦添市、糸満市、石垣市、与那国町の 5 市町が減少に転じる見通しである。さらに 30 年から 35 年にかけては、沖縄市、宜野湾市、八重瀬町の 3 市町が減少に転じ、35 年から 40 年にかけては与那原町と豊見城市の 2 市町が減少に転じる見通しである。50 年から 55 年にかけて南風原町と中城村が減少に転じることにより、県内全ての市町村が減少する見通しである。70 年において人口が 20 年を上回っているのは、南風原町 (3.8%増) と中城村 (0.9%増) の 2 町村となり、この 2 町村以外は全て 20 年を下回っている(図表5)。一方、20 年比で最も下回っているのは粟国村 (69.7%減) で 7 割近く減少する見通しである。次いで多良間村 (61.4%減)、座間味村 (60.7%減)、伊江村 (57.7%減)、国頭村 (54.8%減) となっている。

図表3 市町村別の推計人口(人数)

(単位:人)

		2020年	25	30	35	40	45
沖 縄 県		1,467,480	1,465,430	1,455,150	1,437,880	1,416,650	1,390,600
北 部	国 頭 村	4,510	4,240	3,980	3,710	3,440	3,170
	大 宜 味 村	3,080	2,900	2,750	2,600	2,450	2,300
	東 村	1,590	1,510	1,410	1,310	1,210	1,110
	今 帰 仁 村	8,880	8,450	8,060	7,690	7,340	6,990
	本 部 町	12,510	12,090	11,670	11,210	10,720	10,220
	恩 納 村	10,850	10,590	10,280	9,920	9,520	9,100
	名 護 市	63,450	63,380	63,160	62,650	61,910	60,910
	宜 野 座 村	5,820	5,800	5,760	5,710	5,650	5,590
	金 武 町	10,780	10,560	10,280	9,960	9,630	9,290
	伊 平 屋 村	1,130	1,070	1,010	950	890	830
伊 是 名 村	1,320	1,260	1,190	1,110	1,030	950	
伊 江 村	4,110	4,070	3,940	3,740	3,480	3,180	
中 部	う る ま 市	125,100	125,710	125,710	125,150	124,230	122,900
	読 谷 村	41,140	40,990	40,600	40,010	39,370	38,580
	沖 縄 市	142,530	143,420	143,430	142,690	141,520	139,770
	嘉 手 納 町	13,500	13,300	13,050	12,760	12,470	12,180
	北 谷 町	28,150	28,130	27,950	27,600	27,180	26,700
	北 中 城 村	17,940	17,780	17,560	17,310	17,050	16,750
	中 城 村	22,130	22,510	22,830	23,030	23,190	23,290
	宜 野 湾 市	99,980	100,880	101,060	100,640	99,860	98,690
西 原 町	34,920	34,820	34,570	34,120	33,500	32,730	
南 部	浦 添 市	115,570	115,710	115,050	113,770	112,110	109,990
	那 覇 市	317,050	313,620	307,960	300,590	292,180	282,640
	与 那 原 町	19,670	19,950	20,100	20,140	20,110	19,990
	南 風 原 町	40,390	41,250	41,870	42,300	42,670	42,910
	南 城 市	43,960	43,850	43,560	43,120	42,620	42,070
	豊 見 城 市	64,520	65,250	65,570	65,600	65,470	65,130
	糸 満 市	63,220	63,230	62,960	62,400	61,810	61,190
	渡 嘉 敷 村	720	690	650	630	590	540
	座 間 味 村	890	870	820	770	710	650
	粟 国 村	680	620	560	510	460	410
	渡 名 喜 村	350	320	290	260	240	220
	南 大 東 村	1,280	1,240	1,210	1,170	1,130	1,090
	北 大 東 村	590	570	540	510	480	450
久 米 島 町	7,180	6,890	6,600	6,300	6,000	5,670	
八 重 瀬 町	30,900	31,130	31,240	31,220	31,110	30,920	
宮 古	宮 古 島 市	52,850	52,510	51,990	51,410	50,800	50,040
	多 良 間 村	1,060	980	920	850	780	710
八 重 山	石 垣 市	47,580	47,700	47,540	47,150	46,560	45,740
	竹 富 町	3,940	3,880	3,790	3,700	3,600	3,480
	与 那 国 町	1,670	1,680	1,660	1,620	1,570	1,510

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

(続き)

(単位:人)

		2050	55	60	65	70
沖 縄 県		1,357,360	1,317,980	1,275,500	1,231,840	1,188,410
北 部	国 頭 村	2,890	2,630	2,400	2,210	2,040
	大 宜 味 村	2,140	2,000	1,880	1,790	1,700
	東 村	1,020	930	860	810	760
	今 帰 仁 村	6,640	6,320	6,040	5,800	5,590
	本 部 町	9,720	9,240	8,840	8,510	8,210
	恩 納 村	8,630	8,130	7,630	7,150	6,660
	名 護 市	59,600	57,980	56,230	54,460	52,690
	宜 野 座 村	5,530	5,450	5,380	5,290	5,200
	金 武 町	8,940	8,580	8,200	7,830	7,470
	伊 平 屋 村	770	720	680	640	600
	伊 是 名 村	870	790	730	670	620
伊 江 村	2,840	2,500	2,190	1,940	1,740	
中 部	う る ま 市	120,920	118,370	115,510	112,560	109,640
	読 谷 村	37,580	36,360	35,030	33,660	32,300
	沖 縄 市	137,090	133,590	129,530	125,160	120,730
	嘉 手 納 町	11,840	11,440	11,030	10,640	10,280
	北 谷 町	26,070	25,290	24,410	23,450	22,500
	北 中 城 村	16,380	15,930	15,430	14,900	14,350
	中 城 村	23,290	23,120	22,880	22,610	22,320
	宜 野 湾 市	96,900	94,490	91,740	88,740	85,610
	西 原 町	31,760	30,620	29,380	28,120	26,850
南 部	浦 添 市	107,170	103,700	99,780	95,570	91,340
	那 覇 市	271,510	259,000	245,770	232,250	218,860
	与 那 原 町	19,760	19,440	19,060	18,640	18,200
	南 風 原 町	42,960	42,830	42,570	42,260	41,910
	南 城 市	41,410	40,660	39,900	39,170	38,480
	豊 見 城 市	64,460	63,450	62,210	60,780	59,240
	糸 満 市	60,540	59,770	58,920	58,020	57,180
	渡 嘉 敷 村	490	440	400	360	310
	座 間 味 村	590	520	460	400	350
	栗 国 村	360	310	270	240	210
	渡 名 喜 村	200	190	170	170	160
	南 大 東 村	1,040	990	950	910	880
	北 大 東 村	420	390	360	340	320
	久 米 島 町	5,330	5,000	4,700	4,430	4,190
八 重 瀬 町	30,600	30,180	29,730	29,310	28,930	
宮 古	宮 古 島 市	49,050	48,030	47,140	46,410	45,810
	多 良 間 村	640	570	510	450	410
八 重 山	石 垣 市	44,640	43,440	42,220	41,010	39,790
	竹 富 町	3,340	3,200	3,080	2,960	2,830
	与 那 国 町	1,440	1,370	1,300	1,230	1,160

(備考)リゆうぎん総合研究所による推計。

図表4 市町村別の将来推計人口の増減数

(単位:人)

		2020年	25	30	35	40	45
沖縄県		33,910	▲ 2,050	▲ 10,280	▲ 17,270	▲ 21,230	▲ 26,050
北部	国頭村	▲ 400	▲ 260	▲ 260	▲ 270	▲ 270	▲ 280
	大宜味村	20	▲ 190	▲ 150	▲ 150	▲ 150	▲ 160
	東村	▲ 130	▲ 80	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 100
	今帰仁村	▲ 660	▲ 430	▲ 390	▲ 370	▲ 350	▲ 350
	本部町	▲ 1,030	▲ 410	▲ 420	▲ 460	▲ 480	▲ 500
	恩納村	200	▲ 260	▲ 310	▲ 370	▲ 390	▲ 420
	名護市	1,780	▲ 80	▲ 220	▲ 510	▲ 740	▲ 990
	宜野座村	230	▲ 20	▲ 40	▲ 60	▲ 60	▲ 60
	金武町	▲ 450	▲ 220	▲ 280	▲ 330	▲ 330	▲ 330
	伊平屋村	▲ 110	▲ 60	▲ 60	▲ 60	▲ 60	▲ 60
	伊是名村	▲ 200	▲ 60	▲ 70	▲ 80	▲ 80	▲ 80
伊江村	▲ 150	▲ 40	▲ 120	▲ 210	▲ 250	▲ 300	
中部	うるま市	6,200	610	0	▲ 560	▲ 920	▲ 1,330
	読谷村	1,630	▲ 150	▲ 390	▲ 580	▲ 650	▲ 790
	沖縄市	3,250	890	10	▲ 730	▲ 1,180	▲ 1,750
	嘉手納町	▲ 190	▲ 200	▲ 250	▲ 290	▲ 280	▲ 290
	北谷町	▲ 150	▲ 20	▲ 180	▲ 340	▲ 420	▲ 490
	北中城村	1,790	▲ 150	▲ 220	▲ 250	▲ 260	▲ 300
	中城村	2,670	390	310	200	150	110
	宜野湾市	3,740	900	180	▲ 430	▲ 780	▲ 1,170
西原町	410	▲ 100	▲ 250	▲ 460	▲ 620	▲ 770	
南部	浦添市	1,340	140	▲ 660	▲ 1,270	▲ 1,670	▲ 2,120
	那覇市	▲ 2,390	▲ 3,430	▲ 5,660	▲ 7,380	▲ 8,400	▲ 9,540
	与那原町	1,260	280	150	40	▲ 30	▲ 120
	南風原町	2,890	860	610	430	370	240
	南城市	1,950	▲ 120	▲ 290	▲ 430	▲ 500	▲ 550
	豊見城市	3,400	730	330	20	▲ 120	▲ 340
	糸満市	4,670	10	▲ 270	▲ 560	▲ 600	▲ 620
	渡嘉敷村	▲ 10	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 40	▲ 50
	座間味村	20	▲ 20	▲ 50	▲ 50	▲ 60	▲ 60
	粟国村	▲ 80	▲ 60	▲ 60	▲ 50	▲ 50	▲ 50
	渡名喜村	▲ 80	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 20	▲ 20
	南大東村	▲ 50	▲ 40	▲ 40	▲ 40	▲ 40	▲ 40
	北大東村	▲ 40	▲ 20	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 30
久米島町	▲ 580	▲ 290	▲ 290	▲ 300	▲ 300	▲ 330	
八重瀬町	1,830	230	110	▲ 30	▲ 110	▲ 190	
宮古	宮古島市	1,660	▲ 340	▲ 520	▲ 580	▲ 610	▲ 760
	多良間村	▲ 140	▲ 70	▲ 70	▲ 70	▲ 70	▲ 70
八重山	石垣市	20	120	▲ 160	▲ 390	▲ 590	▲ 830
	竹富町	▲ 60	▲ 60	▲ 90	▲ 100	▲ 100	▲ 120
与那国町	▲ 170	10	▲ 20	▲ 40	▲ 50	▲ 60	

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

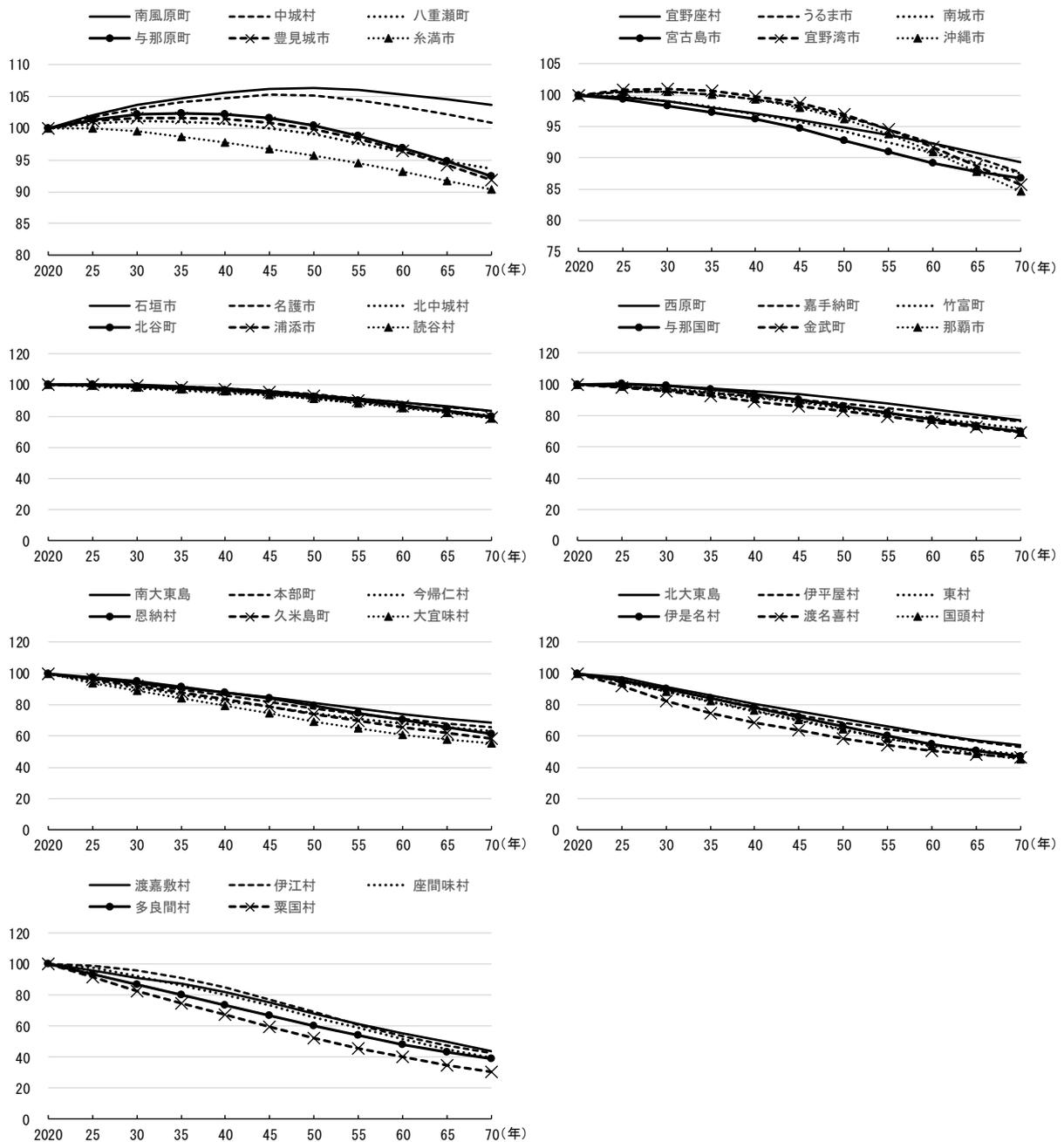
(続き)

(単位:人)

		50	55	60	65	70
沖 縄 県		▲ 33,230	▲ 39,390	▲ 42,480	▲ 43,650	▲ 43,430
北 部	国 頭 村	▲ 280	▲ 260	▲ 230	▲ 200	▲ 170
	大 宜 味 村	▲ 150	▲ 140	▲ 120	▲ 100	▲ 80
	東 村	▲ 90	▲ 80	▲ 70	▲ 50	▲ 50
	今 帰 仁 村	▲ 350	▲ 320	▲ 280	▲ 230	▲ 210
	本 部 町	▲ 510	▲ 480	▲ 400	▲ 330	▲ 300
	恩 納 村	▲ 470	▲ 510	▲ 490	▲ 490	▲ 480
	名 護 市	▲ 1,310	▲ 1,620	▲ 1,760	▲ 1,770	▲ 1,770
	宜 野 座 村	▲ 70	▲ 70	▲ 80	▲ 80	▲ 90
	金 武 町	▲ 350	▲ 370	▲ 370	▲ 370	▲ 360
	伊 平 屋 村	▲ 60	▲ 50	▲ 40	▲ 40	▲ 40
	伊 是 名 村	▲ 80	▲ 80	▲ 70	▲ 60	▲ 50
	伊 江 村	▲ 330	▲ 340	▲ 310	▲ 250	▲ 210
中 部	う る ま 市	▲ 1,990	▲ 2,550	▲ 2,850	▲ 2,960	▲ 2,920
	読 谷 村	▲ 1,000	▲ 1,220	▲ 1,330	▲ 1,370	▲ 1,360
	沖 縄 市	▲ 2,680	▲ 3,510	▲ 4,060	▲ 4,370	▲ 4,430
	嘉 手 納 町	▲ 340	▲ 400	▲ 410	▲ 390	▲ 360
	北 谷 町	▲ 630	▲ 770	▲ 880	▲ 950	▲ 950
	北 中 城 村	▲ 370	▲ 450	▲ 500	▲ 530	▲ 550
	中 城 村	0	▲ 170	▲ 240	▲ 280	▲ 290
	宜 野 湾 市	▲ 1,790	▲ 2,410	▲ 2,750	▲ 3,000	▲ 3,130
南 部	西 原 町	▲ 970	▲ 1,150	▲ 1,230	▲ 1,260	▲ 1,280
	浦 添 市	▲ 2,820	▲ 3,470	▲ 3,930	▲ 4,210	▲ 4,230
	那 覇 市	▲ 11,130	▲ 12,510	▲ 13,230	▲ 13,520	▲ 13,390
	与 那 原 町	▲ 230	▲ 330	▲ 380	▲ 420	▲ 440
	南 風 原 町	50	▲ 130	▲ 260	▲ 310	▲ 350
	南 城 市	▲ 670	▲ 740	▲ 760	▲ 730	▲ 690
	豊 見 城 市	▲ 670	▲ 1,010	▲ 1,250	▲ 1,430	▲ 1,540
	糸 満 市	▲ 650	▲ 770	▲ 860	▲ 900	▲ 840
	渡 嘉 敷 村	▲ 50	▲ 50	▲ 40	▲ 40	▲ 40
	座 間 味 村	▲ 70	▲ 60	▲ 60	▲ 60	▲ 50
	粟 国 村	▲ 50	▲ 50	▲ 40	▲ 30	▲ 30
	渡 名 喜 村	▲ 20	▲ 20	▲ 10	▲ 10	0
	南 大 東 村	▲ 50	▲ 50	▲ 40	▲ 40	▲ 30
	北 大 東 村	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 20	▲ 20
	宮 古	久 米 島 町	▲ 340	▲ 330	▲ 310	▲ 270
八 重 瀬 町		▲ 320	▲ 420	▲ 450	▲ 420	▲ 380
宮 古 島 市		▲ 990	▲ 1,030	▲ 890	▲ 720	▲ 600
八 重 山	多 良 間 村	▲ 70	▲ 70	▲ 60	▲ 50	▲ 50
	石 垣 市	▲ 1,090	▲ 1,200	▲ 1,220	▲ 1,210	▲ 1,220
	竹 富 町	▲ 140	▲ 140	▲ 120	▲ 120	▲ 130
	与 那 国 町	▲ 70	▲ 70	▲ 70	▲ 70	▲ 70

(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。

図表5 市町村別の将来推計人口(2020年=100)



(備考)りゅうぎん総合研究所による推計。各市町村のグラフは上(左→右)から増加率の高い順に掲載している。

(人口の構成比)

県人口に占める構成比をみると、2070年で最も大きいのは那覇市(18.4%)で、次いで沖縄市(10.2%)、うるま市(9.2%)、浦添市(7.7%)、宜野湾市(7.2%)となる見通しであり、20年と同じ順位となっている(図表5)。構成比の増減では、最も増加するのは南風原町で、0.8ポイント上昇する見通しである。次いで、うるま市(0.7ポイント上昇)、豊見城市(0.6ポイント上昇)、糸満市(0.5ポイント上昇)、沖縄市(0.4ポイント上昇)となっている。

図表6 市町村別の将来推計人口の増減数と構成比(2020年、2070年)

(単位:人、%)

	2020年	2070年	増減数	増減率	構成比			
					2020年	2070年	増減(%P)	
					100.0	100.0	-	
沖縄県	1,467,480	1,188,410	▲ 279,070	▲ 19.0	100.0	100.0	-	
北部	国頭村	4,510	2,040	▲ 2,470	▲ 54.8	0.3	0.2	▲ 0.1
	大宜味村	3,080	1,700	▲ 1,380	▲ 44.8	0.2	0.1	▲ 0.1
	東村	1,590	760	▲ 830	▲ 52.2	0.1	0.1	▲ 0.0
	今帰仁村	8,880	5,590	▲ 3,290	▲ 37.0	0.6	0.5	▲ 0.1
	本部町	12,510	8,210	▲ 4,300	▲ 34.4	0.9	0.7	▲ 0.2
	恩納村	10,850	6,660	▲ 4,190	▲ 38.6	0.7	0.6	▲ 0.2
	名護市	63,450	52,690	▲ 10,760	▲ 17.0	4.3	4.4	0.1
	宜野座村	5,820	5,200	▲ 620	▲ 10.7	0.4	0.4	0.0
	金武町	10,780	7,470	▲ 3,310	▲ 30.7	0.7	0.6	▲ 0.1
	伊平屋村	1,130	600	▲ 530	▲ 46.9	0.1	0.1	▲ 0.0
	伊是名村	1,320	620	▲ 700	▲ 53.0	0.1	0.1	▲ 0.0
伊江村	4,110	1,740	▲ 2,370	▲ 57.7	0.3	0.1	▲ 0.1	
中部	うるま市	125,100	109,640	▲ 15,460	▲ 12.4	8.5	9.2	0.7
	読谷村	41,140	32,300	▲ 8,840	▲ 21.5	2.8	2.7	▲ 0.1
	沖縄市	142,530	120,730	▲ 21,800	▲ 15.3	9.7	10.2	0.4
	嘉手納町	13,500	10,280	▲ 3,220	▲ 23.9	0.9	0.9	▲ 0.1
	北谷町	28,150	22,500	▲ 5,650	▲ 20.1	1.9	1.9	▲ 0.0
	北中城村	17,940	14,350	▲ 3,590	▲ 20.0	1.2	1.2	▲ 0.0
	中城村	22,130	22,320	▲ 190	▲ 0.9	1.5	1.9	0.4
	宜野湾市	99,980	85,610	▲ 14,370	▲ 14.4	6.8	7.2	0.4
南部	西原町	34,920	26,850	▲ 8,070	▲ 23.1	2.4	2.3	▲ 0.1
	浦添市	115,570	91,340	▲ 24,230	▲ 21.0	7.9	7.7	▲ 0.2
	那覇市	317,050	218,860	▲ 98,190	▲ 31.0	21.6	18.4	▲ 3.2
	与那原町	19,670	18,200	▲ 1,470	▲ 7.5	1.3	1.5	0.2
	南風原町	40,390	41,910	▲ 1,520	▲ 3.8	2.8	3.5	0.8
	南城市	43,960	38,480	▲ 5,480	▲ 12.5	3.0	3.2	0.2
	豊見城市	64,520	59,240	▲ 5,280	▲ 8.2	4.4	5.0	0.6
	糸満市	63,220	57,180	▲ 6,040	▲ 9.6	4.3	4.8	0.5
	渡嘉敷村	720	310	▲ 410	▲ 56.9	0.0	0.0	▲ 0.0
	座間味村	890	350	▲ 540	▲ 60.7	0.1	0.0	▲ 0.0
	粟国村	680	210	▲ 470	▲ 69.1	0.0	0.0	▲ 0.0
	渡名喜村	350	160	▲ 190	▲ 54.3	0.0	0.0	▲ 0.0
	南大東村	1,280	880	▲ 400	▲ 31.3	0.1	0.1	▲ 0.0
	北大東村	590	320	▲ 270	▲ 45.8	0.0	0.0	▲ 0.0
宮古	久米島町	7,180	4,190	▲ 2,990	▲ 41.6	0.5	0.4	▲ 0.1
	八重瀬町	30,900	28,930	▲ 1,970	▲ 6.4	2.1	2.4	0.3
	宮古島市	52,850	45,810	▲ 7,040	▲ 13.3	3.6	3.9	0.3
	多良間村	1,060	410	▲ 650	▲ 61.3	0.1	0.0	▲ 0.0
八重山	石垣市	47,580	39,790	▲ 7,790	▲ 16.4	3.2	3.3	0.1
	竹富町	3,940	2,830	▲ 1,110	▲ 28.2	0.3	0.2	▲ 0.0
	与那国町	1,670	1,160	▲ 510	▲ 30.5	0.1	0.1	▲ 0.0

(備考) 増減率は下1桁で計算しているため、下2桁で表記している人口の増減率とは一致しない。  
りゅうぎん総合研究所による推計。

### (年齢3区分別人口の増減)

2020年から70年までの人口の増減率を年齢3区分別で見ると、0～14歳人口の年少人口は全ての市町村で減少する見通しである(図表7)。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村(90.6%減)で、次いで座間味村(88.3%減)、栗国村(82.1%減)、多良間村(75.8%減)、伊江村(70.0%減)、国頭村(63.7%減)となっている。また、15～64歳の生産年齢人口も全ての市町村で減少する見通しである。最も減少率が大きいのは渡嘉敷村(78.4%減)で、次いで栗国村(78.1%減)、伊江村(75.9%減)、座間味村(72.8%減)、多良間村(66.5%減)、伊是名村(59.9%減)となっている。

一方、65歳以上の老年人口は23市町村で増加する見通しである。最も増加率が大きいのは中城村(64.0%増)で、次いで南風原町(56.6%増)、宜野湾市(53.1%増)、豊見城市(49.4%増)、沖縄市(45.0%増)となっている。また、最も減少率が大きいのは渡名喜村(68.9%減)で、次いで東村(56.9%減)、栗国村(53.9%減)、伊平屋村(46.0%減)、多良間村(45.2%減)となっており、既に高齢者の割合が高い自治体となっている。

図表7 市町村別の年齢3区分別人口と増減率(2020年、2070年)

(単位:人、%)

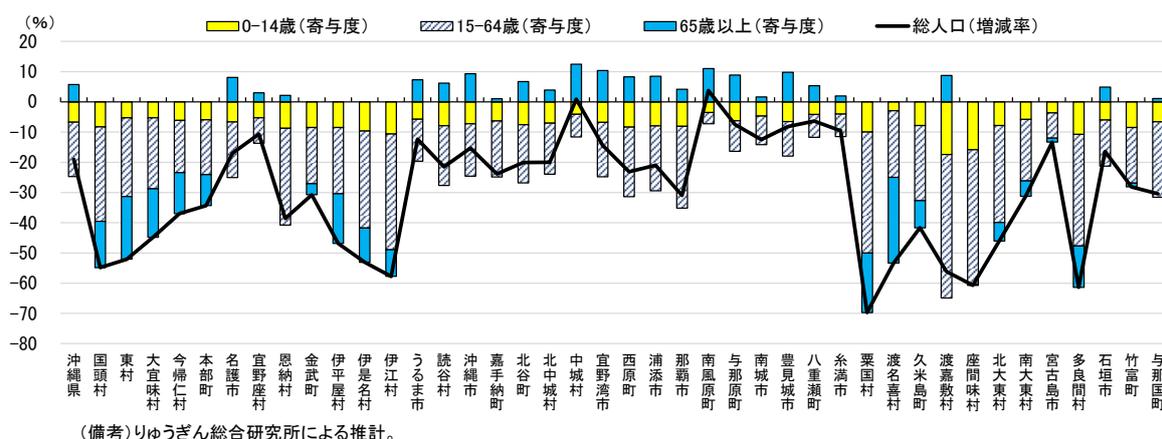
	0～14歳			15～64歳			65歳以上			
	2020年	2070年	2020 → 2070年	2020年	2070年	2020 → 2070年	2020年	2070年	2020 → 2070年	
沖 縄 県	248,060	149,450	▲ 39.8	888,370	624,040	▲ 29.8	331,050	414,920	▲ 25.3	
北 部	国 頭 村	590	210	▲ 63.7	2,380	980	▲ 59.1	1,540	850	▲ 44.9
	東 村	200	110	▲ 42.5	810	400	▲ 50.9	580	250	▲ 56.9
	大宜味村	350	190	▲ 46.4	1,600	870	▲ 45.4	1,140	640	▲ 43.4
	今帰仁村	1,340	790	▲ 40.8	4,540	3,010	▲ 33.8	3,000	1,800	▲ 40.1
	本部町	1,810	1,060	▲ 41.2	6,590	4,330	▲ 34.3	4,100	2,820	▲ 31.3
	名護市	10,860	6,630	▲ 38.9	38,390	26,740	▲ 30.4	14,200	19,320	▲ 36.0
	宮野座村	1,160	850	▲ 26.4	3,180	2,690	▲ 15.5	1,480	1,660	▲ 11.9
	恩納村	1,590	640	▲ 59.8	6,660	3,190	▲ 52.1	2,600	2,840	▲ 9.0
	金武町	1,880	960	▲ 48.8	5,920	3,920	▲ 33.9	2,980	2,590	▲ 13.2
	伊平屋村	160	60	▲ 59.6	560	320	▲ 43.8	400	220	▲ 46.0
	伊是名村	210	80	▲ 61.4	710	280	▲ 59.9	400	260	▲ 36.9
伊江村	620	190	▲ 70.0	2,070	500	▲ 75.9	1,410	1,050	▲ 25.6	
中 部	うるま市	21,260	14,060	▲ 33.8	75,930	58,540	▲ 22.9	27,910	37,030	▲ 32.7
	読谷村	7,100	3,850	▲ 45.8	25,030	16,900	▲ 32.5	9,010	11,550	▲ 28.3
	沖縄市	24,600	14,280	▲ 41.9	88,410	63,630	▲ 28.0	29,520	42,810	▲ 45.0
	嘉手納町	2,320	1,470	▲ 36.7	7,910	5,400	▲ 31.7	3,260	3,400	▲ 4.2
	北谷町	4,900	2,770	▲ 43.4	17,390	11,980	▲ 31.2	5,860	7,760	▲ 32.3
	北中城村	3,000	1,740	▲ 42.1	10,630	7,610	▲ 28.4	4,300	5,000	▲ 16.4
	中城村	4,080	3,170	▲ 22.3	13,740	12,090	▲ 12.0	4,310	7,060	▲ 64.0
	宮野座市	17,360	10,610	▲ 38.9	63,060	45,060	▲ 28.6	19,550	29,940	▲ 53.1
	西原町	5,720	2,790	▲ 51.1	21,650	13,610	▲ 37.1	7,560	10,440	▲ 38.1
	浦添市	19,890	10,700	▲ 46.2	72,320	47,480	▲ 34.3	23,360	33,150	▲ 41.9
南 部	那覇市	47,630	21,940	▲ 53.9	195,520	109,750	▲ 43.9	73,890	87,180	▲ 18.0
	南風原町	8,230	6,790	▲ 17.5	24,310	22,810	▲ 6.1	7,860	12,300	▲ 56.6
	与那原町	3,820	2,590	▲ 32.2	11,900	9,910	▲ 16.7	3,950	5,700	▲ 44.3
	南城市	7,760	5,690	▲ 26.8	24,850	20,710	▲ 16.6	11,350	12,080	▲ 6.4
	豊見城市	12,650	8,430	▲ 33.3	39,130	31,770	▲ 18.8	12,740	19,040	▲ 49.4
	八重瀬町	5,990	4,700	▲ 21.5	18,030	15,690	▲ 13.0	6,880	8,530	▲ 24.0
	糸満市	11,200	8,650	▲ 22.7	35,820	31,090	▲ 13.2	16,210	17,440	▲ 7.6
	粟国村	80	10	▲ 82.1	350	80	▲ 78.1	250	110	▲ 53.9
	渡名喜村	30	20	▲ 34.8	170	100	▲ 43.8	140	40	▲ 68.9
	久米島町	1,080	520	▲ 52.1	3,970	2,190	▲ 45.0	2,130	1,490	▲ 30.2
	渡嘉敷村	140	10	▲ 90.6	430	90	▲ 78.4	140	210	▲ 43.4
	座間味村	160	20	▲ 88.3	550	150	▲ 72.8	190	180	▲ 1.4
	北大東村	100	50	▲ 46.9	370	180	▲ 51.8	130	90	▲ 28.6
	南大東村	200	130	▲ 36.7	770	510	▲ 34.1	310	250	▲ 20.7
宮 古	宮古島市	8,560	6,620	▲ 22.6	30,070	25,660	▲ 14.7	14,220	13,540	▲ 4.8
	多良間村	150	40	▲ 75.8	590	200	▲ 66.5	320	180	▲ 45.2
八 重 山	石垣市	8,310	5,440	▲ 34.6	28,690	21,440	▲ 25.3	10,580	12,900	▲ 21.9
	竹富町	710	380	▲ 46.9	2,320	1,600	▲ 31.2	900	850	▲ 5.4
	与那国町	300	190	▲ 36.4	1,020	600	▲ 41.3	360	380	▲ 5.3

(備考)増減率は下1桁で計算しているため、下2桁で表記している人口の増減率とは一致しない。  
りゅうぎん総合研究所による推計。

(人口増減率に対する年齢3区分別人口の増減寄与度)

人口の増減率に対する年齢3区分別人口の増減寄与度をみると、前述のとおり0～14歳人口および15～64歳人口は全ての市町村で減少しているので全市町村でマイナスに寄与している(図表8)。65歳以上人口は23市町村でプラスに寄与している。また、渡名喜村や粟国村、東村、大宜味村など、既に高齢者の割合が高い自治体では今後、死亡者が増加することにより65歳以上人口もマイナスに寄与している。

図表8 人口増減率と年齢3区分別人口の増減寄与度(2020年～2070年)



### (年齢3区分別人口の構成比)

各市町村の人口に占める年齢3区分別人口の構成比について2020年と70年を比較すると、0～14歳人口では、渡名喜村が20年の8.4%が70年には11.8%に3.3ポイント(注)上昇し、東村が12.4%から14.9%に2.5ポイント上昇するが、この2村以外は全て低下する見通しである(図表9、図表10)。なお、渡名喜村と東村は0～14歳人口の人数は減少するが、15～64歳人口や65歳以上人口の減少数が上回るため、構成比が相対的に上昇している。15～64歳人口では、竹富町が20年の50.5%から70年には60.9%に10.4ポイント上昇し、中城村が50.0%から52.8%に2.8ポイント上昇、伊是名村が51.1%から52.2%に1.2ポイント上昇(注)するが、この3町村以外は全て低下する見通しである。

一方、65歳以上人口では、渡嘉敷村が20年の20.2%から70年には66.1%に45.9ポイント上昇し、座間味村が20.8%から52.3%に31.5ポイント上昇、伊江村が34.4%から60.5%に26.1ポイント上昇するなど、38市町村で上昇する見通しである。低下するのは3村で、渡名喜村が41.1%から27.4%に13.7ポイント低下し、東村が36.5%から32.9%に3.7ポイント(注)し、今帰仁村が33.8%から32.1%に1.7ポイント低下する見通しである。

(注) 有効桁数の関係で、構成比の差分は表記される差分と0.1ポイント異なる。

図表9 市町村別の年齢3区分別人口の構成比(2020年、2070年)

(単位: %、%ポイント)

	0~14歳			15~64歳			65歳以上			
	2020年	2070年	2020 →70年	2020年	2070年	2020 →70年	2020年	2070年	2020 →70年	
沖縄県	16.9	12.6	▲ 4.3	64.8	51.7	▲ 13.1	22.6	34.9	12.4	
北 部	国頭村	13.0	10.5	▲ 2.6	59.0	40.6	▲ 18.4	34.1	41.6	7.5
	東村	12.4	14.9	▲ 2.5	60.4	41.7	▲ 18.6	36.5	32.9	▲ 3.7
	大宜味村	11.4	11.1	▲ 0.3	58.0	40.9	▲ 17.1	36.9	37.8	0.9
	今帰仁村	15.0	14.1	▲ 0.9	58.6	43.0	▲ 15.6	33.8	32.1	▲ 1.7
	本部町	14.5	13.0	▲ 1.5	61.9	41.7	▲ 20.2	32.8	34.3	1.5
	名護市	17.1	12.6	▲ 4.5	64.9	48.6	▲ 16.3	22.4	36.7	14.3
	宜野座村	19.9	16.4	▲ 3.5	59.9	49.7	▲ 10.3	25.4	31.9	6.4
	恩納村	14.6	9.6	▲ 5.1	64.9	52.7	▲ 12.2	24.0	42.5	18.6
	金武町	17.4	12.9	▲ 4.5	60.5	52.5	▲ 8.0	27.7	34.7	7.0
	伊平屋村	14.2	10.8	▲ 3.4	52.8	47.9	▲ 4.9	35.8	36.4	0.6
	伊是名村	15.7	12.9	▲ 2.8	51.1	52.2	▲ 1.2	30.7	41.2	10.6
伊江村	15.2	10.8	▲ 4.4	51.7	51.1	▲ 0.6	34.4	60.5	26.1	
中 部	うるま市	17.0	12.8	▲ 4.2	51.2	53.8	▲ 2.6	22.3	33.8	11.5
	読谷村	17.3	11.9	▲ 5.3	52.7	52.7	▲ 0.0	21.9	35.8	13.9
	沖縄市	17.3	11.8	▲ 5.4	60.5	50.7	▲ 9.8	20.7	35.5	14.7
	嘉手納町	17.2	14.3	▲ 2.9	54.7	51.8	▲ 2.9	24.2	33.1	8.9
	北谷町	17.4	12.3	▲ 5.1	61.4	47.9	▲ 13.5	20.8	34.5	13.6
	北中城村	16.7	12.1	▲ 4.6	54.9	52.5	▲ 2.5	24.0	34.9	10.9
	中城村	18.4	14.2	▲ 4.2	50.0	52.8	▲ 2.8	19.5	31.6	12.2
	宜野湾市	17.4	12.4	▲ 5.0	53.6	45.9	▲ 7.8	19.6	35.0	15.4
南 部	西原町	16.4	10.4	▲ 6.0	50.5	28.7	▲ 21.7	21.6	38.9	17.2
	浦添市	17.2	11.7	▲ 5.5	60.7	53.4	▲ 7.3	20.2	36.3	16.1
	那覇市	15.0	10.0	▲ 5.0	60.9	52.3	▲ 8.5	23.3	39.8	16.5
	南風原町	20.4	16.2	▲ 4.2	62.0	52.7	▲ 9.3	19.5	29.4	9.9
	与那原町	19.4	14.2	▲ 5.2	58.6	52.6	▲ 6.0	20.1	31.3	11.2
	南城市	17.7	14.8	▲ 2.9	61.8	53.2	▲ 8.6	25.8	31.4	5.6
	豊見城市	19.6	14.2	▲ 5.4	59.3	53.0	▲ 6.3	19.8	32.1	12.4
	八重瀬町	19.4	16.3	▲ 3.1	62.1	54.2	▲ 7.9	22.3	29.5	7.2
	糸満市	17.7	15.1	▲ 2.6	63.1	52.6	▲ 10.4	25.6	30.5	4.9
	粟国村	12.2	7.2	▲ 5.0	62.0	50.7	▲ 11.3	36.6	55.7	19.1
	渡名喜村	8.4	11.8	▲ 3.3	62.6	52.0	▲ 10.6	41.1	27.4	▲ 13.7
	久米島町	15.0	12.3	▲ 2.7	61.7	50.1	▲ 11.5	29.7	35.5	5.8
	渡嘉敷村	19.2	4.1	▲ 15.1	60.2	54.4	▲ 5.7	20.2	66.1	45.9
	座間味村	18.0	5.4	▲ 12.6	60.5	54.5	▲ 6.0	20.8	52.3	31.5
	北大東村	16.6	16.4	▲ 0.3	56.5	53.8	▲ 2.7	21.4	28.3	6.9
南大東村	15.7	14.5	▲ 1.3	60.6	53.6	▲ 7.0	24.4	28.2	3.7	
宮 古	宮古島市	16.2	14.4	▲ 1.7	58.3	54.2	▲ 4.1	26.9	29.5	2.6
	多良間村	14.2	8.9	▲ 5.3	56.7	54.4	▲ 2.3	30.3	43.0	12.7
八 重 山	石垣市	17.5	13.7	▲ 3.8	51.3	37.1	▲ 14.2	22.2	32.4	10.2
	竹富町	18.1	13.3	▲ 4.7	50.5	60.9	▲ 10.4	22.9	30.2	7.2
与那国町	18.0	16.5	▲ 1.5	55.3	52.2	▲ 3.1	21.3	32.3	11.0	

(備考) リゅうぎん総合研究所による推計。

図表 10 年齢3区分別人口の構成比(2020年、2070年)



(備考)リゆうぎん総合研究所による推計。

#### 4. 県内地域別の将来推計人口

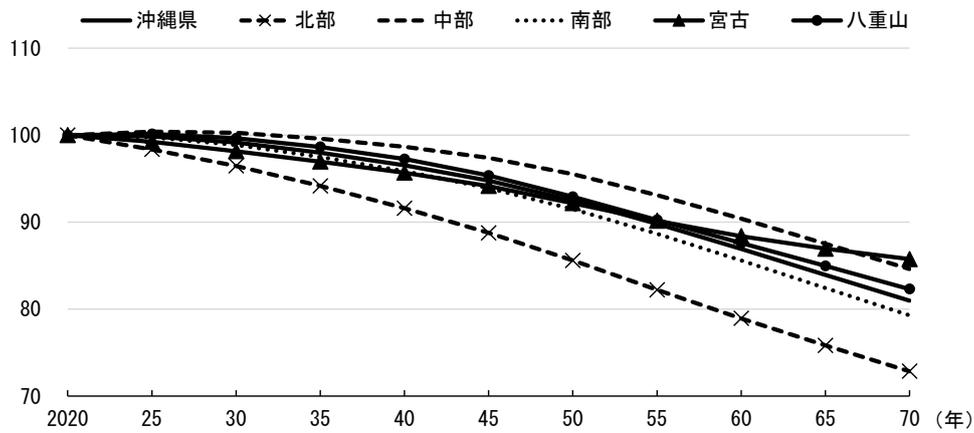
##### (地域別の将来推計人口)

北部、中部、南部、宮古、八重山の地域別の将来推計人口は、その地域の市町村の将来推計人口を集計したものである。地域別では、北部地域が20年は12万8,030人で既に15年(12万8,930人)より減少しており、その後も減少が続き、70年に9万3,280人となる見通しである(図表11、図表12)。また、南部地域と宮古地域は20年から25年に減少に転じ、南部地域は20年の70万6,970人から70年には56万550人となり、宮古地域は5万3,900人から4万6,220人となる見通しである。中部地域は25年から30年に減少に転じ、20年の52万5,380人から70年には44万4,570人となる見通しであり、30年には全ての地域が減少に転じる見通しである。八重山地域は、20年は5万3,190人で、15年比で既に減少しているが、25年は僅かながら増加に転じ、30年には再び減少に転じる見通しである。70年には4万3,780人となる見通しである。

市町村の地域区分

地 域	市町村
北 部	国頭村 東村 大宜味村 今帰仁村 本部町 名護市
	宜野座村 恩納村 金武町 伊平屋村 伊是名村 伊江村
中 部	うるま市 読谷村 沖縄市 嘉手納町 北谷町
	北中城村 中城村 宜野湾市 西原町
南 部	浦添市 那覇市 南風原町 与那原町 南城市
	豊見城市 八重瀬町 糸満市 粟国村 渡名喜村
	久米島町 渡嘉敷村 座間味村 北大東村 南大東村
宮 古	宮古島市 多良間村
八重山	石垣市 竹富町 与那国町

図表 11 地域別の将来推計人口(2020年=100)



(備考)リゆうぎん総合研究所による推計。

図表 12 地域別の将来推計人口と構成比

(人 数)		(単位：人)					
	2020年	25	30	35	40	45	
沖 縄	1,467,480	1,465,430	1,455,150	1,437,880	1,416,650	1,390,600	
北部	128,030	125,920	123,510	120,550	117,280	113,640	
中部	525,380	527,550	526,750	523,320	518,370	511,600	
南部	706,970	705,200	698,980	689,270	677,690	663,880	
宮古	53,900	53,500	52,910	52,260	51,580	50,750	
八重山	53,190	53,260	53,000	52,470	51,730	50,730	
(構成比)							
	2020年	25	30	35	40	45	
沖 縄	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
北部	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2	
中部	35.8	36.0	36.2	36.4	36.6	36.8	
南部	48.2	48.1	48.0	47.9	47.8	47.7	
宮古	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	
八重山	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	

(備考)リゆうぎん総合研究所による推計。

(続き)

(人 数)

(単位：人)

	50	55	60	65	70
沖 縄	1,357,360	1,317,980	1,275,500	1,231,840	1,188,410
北部	109,580	105,270	101,060	97,090	93,280
中部	501,830	489,210	474,950	459,840	444,570
南部	646,830	626,890	605,250	582,840	560,550
宮古	49,690	48,590	47,640	46,870	46,220
八重山	49,430	48,010	46,600	45,200	43,780

(構成比)

(単位：%)

	50	55	60	65	70
沖 縄	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北部	8.1	8.0	7.9	7.9	7.8
中部	37.0	37.1	37.2	37.3	37.4
南部	47.7	47.6	47.5	47.3	47.2
宮古	3.7	3.7	3.7	3.8	3.9
八重山	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7

(備考) リゅうぎん総合研究所による推計。

上席研究員 金城 毅